

飛騨市第三次環境基本計画実行計画
(令和 6 年度計画)
実施状況年次報告書

令和 7 年 5 月

飛騨市環境水道部環境課

目次

1	本報告書について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	実行計画の内容について・・・・・・・・	2
3	実行計画の目標期間等・・・・・・・・	3
4	推進体制・・・・・・・・	3
令和6年度に推進した各施策の実施結果・・・・・・・・4		
基本目標1 地球温暖化対策を推進する		
1-1	省エネを推進する・・・・・・・・	4
1-2	地域の特性に合わせた再エネ導入を推進する・・・・・・・・	6
1-3	温室効果ガスの吸収源対策をする・・・・・・・・	8
1-4	気候変動へ適応する・・・・・・・・	11
基本目標2 循環型社会を構築する		
2-1	3Rの取組を推進する・・・・・・・・	12
2-2	廃棄物を適正に処理する取組を推進する・・・・・・・・	15
基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ		
3-1	豊かな緑と水を保全活用する・・・・・・・・	17
3-2	自然と人が共生する・・・・・・・・	19
基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る		
4-1	快適な生活環境をつくる・・・・・・・・	22
4-2	安心・安全な生活環境を保全する・・・・・・・・	25
基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む		
5-1	主体的に環境保全活動に取り組む・・・・・・・・	27
5-2	環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する・・・・・・・・	29
事業実施指標に関する実績報告・・・・・・・・		30

1 本報告書について

市では飛騨市第二次環境基本計画で掲げた目標の達成状況や取組の進捗状況を評価したうえで、各種関連計画との整合を図るとともに、社会情勢の変化に対応するため、飛騨市第三次環境基本計画を令和5年3月に策定しました。

環境基本計画実行計画（以下、「実行計画」という。）は、飛騨市第三次環境基本計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として毎年度策定をするもので、本報告書により令和6年度に実施した施策の状況を報告・公表します。

2 実行計画の内容について

- （１）実行計画は、飛騨市第三次環境基本計画の基本目標達成のための令和6年度における具体的な取り組み事項等を明らかにしたものです。
- （２）飛騨市第三次環境基本計画が目的とする「豊かな自然と調和した持続可能なまちづくり」の実現に向け、目標の体系として5つの「基本目標」を設定しており、それぞれの「施策の方向性」に基づいて、実行計画を推進することとしています。

基本目標	施策の方向性
基本目標1 地球温暖化対策を推進する	1-1 省エネを推進する
	1-2 地域の特性に合わせた再エネ導入を推進する
	1-3 温室効果ガスの吸収源対策をする
	1-4 気候変動へ適応する
基本目標2 循環型社会を構築する	2-1 3Rの取組を推進する
	2-2 廃棄物を適正に処理する取組を推進する
基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ	3-1 豊かな緑と水を保全活用する
	3-2 自然と人が共生する
基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る	4-1 快適な生活環境をつくる
	4-2 安心・安全な生活環境を保全する
基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む	5-1 主体的に環境保全活動に取り組む
	5-2 環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する

3 実行計画の目標期間等

実行計画は令和6年度において運用し、各種施策を推進しました。

4 推進体制

実行計画は、飛騨市環境基本計画推進委員会で整理し、各施策の所管課において具体の施策を実施したものです。

進捗状況は、年次報告の形で報告・公表することとしています。

○令和 6 年度に推進した各施策の実施結果は以下のとおりです。

基本目標 1 地球温暖化対策を推進する

1－1 省エネを推進する

建築物の省エネ化の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
1	住宅省エネリフォームへの助成	開口部や外壁、屋根・天井又は床の断熱改修、高効率給湯器や節水型トイレ等のエコ住宅設備の設置等の費用に対し、上限 30 万円を補助します。	令和 6 年度 140 件 16,439 千円の補助を実施。	建築住宅課
2	市有施設における電力需給契約の見直し	市有施設について、慎重な見極めを行ったうえで信頼性の高い新電力会社との電力需給 契約を検討・転換し、財政負担軽減とゼロカーボンシティ実現を図ります。	令和 5 年 4 月より下小萱グラウンド夜間照明、同年 11 月より宮川スポーツ公園夜間照明の高圧電力供給契約をエネルギープロバイダサービス業者との契約を介して新電力会社へ転換。令和 6 年度も引き続きプロバイダ事業者を介して新電力会社と契約し、令和 4 年度電気使用料 1, 753 千円に対し、令和 6 年度電気使用料 770 千円となり、電気使用料が 56%削減できた。	スポーツ振興課
3	公共施設照明の LED 化	公共施設の照明は蛍光灯が多いことから、既存の照明機器から LED 照明へ計画的に交換することでエネルギー使用量の削減を図ります。	神岡振興事務所（2 階 3 階の LED 照明改修）、古川消防署、古川浄化センター、神岡浄化センターにおいて LED 化を実施	建築住宅課 他

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4	住宅新築・購入の支援	住宅を新築・購入する際、断熱等性能等級4以上かつ一次エネルギー消費量等級4以上の性能を有する住宅に対して補助します。	令和6年度30件 17,300千円の補助を実施。	建築住宅課

高効率設備導入の促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
5	省エネ家電製品買替の支援	長期にわたって節電効果が期待できる市民の冷蔵庫やエアコン、照明器具などの省エネ家電への買替えに対し、費用の1/4（上限5万円）を補助します。	令和6年度105件 4,523千円の補助を実施。 内訳（エアコン36件、冷蔵庫46件、照明器具23件）	環境課
6	事業所における省エネ設備導入費用の支援	事業者が従来に比べ高効率な設備を導入する際の費用の1/2（上限50万円）を補助します。	令和6年度：8件 3,010千円の補助を実施。 ※LED改修、空調改修等への導入支援を実施。	商工課
7	電気自動車の購入支援	市内における電気自動車の普及を図るため、電気自動車購入費用の一部を支援します。（20万円/台）	令和6年度 6件 1,200千円の補助を実施。	環境課
8	行政区等が管理する防犯灯のLED化	既存防犯灯のLED化改修について支援を図ります。令和6年度からはLED防犯灯交換に対しても補助を行います。	令和6年度3件 35千円の補助を実施	総務課

省エネへの行動変容を促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
9	家庭でできるゼロカーボンアクションの啓発	昨年度に引き続き、広報ひだにゼロカーボンアクションを紹介するコラムを連載し、市民一人ひとりのライフスタイルの変容を促していきます。また、脱炭素推進協議会のワーキンググループにおいて新たな啓発事業を検討します。	毎月の広報ひだにおいて、ゼロカーボンに向けたアクション周知を行った。また、脱炭素推進協議会から派生した5つのワーキンググループを展開し、全19回の会議を開催。市内における「脱炭素」の認知・意識・行動促進が急務と位置付け、ガイドブックやポイント制度の構築を検討した。	環境課

1-2 地域の特性に合わせた再エネ導入を推進する

「水力発電王国」の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
10	市内における中小水力発電所等の整備促進	民間事業者による中小水力発電所等の整備を促進するとともに、市内で行われる水素などの次世代エネルギーの調査研究を後方支援します。	民間事業者等からの小水力発電に関する問い合わせに随時対応。また、グリーン専門人材を招聘し、マイクロ小水力発電等の検証を行った。	環境課
11	「わがまち特例」による再エネ発電所等の固定資産税の軽減	中小水力発電所等の設置に係る固定資産税を「わがまち特例」により3年間軽減します。	3社該当	税務課
12	小水力発電所（石神用水清流発電所）の運営	自然エネルギーである水資源を有効活用した小水力発電所の運営により、二酸化炭素の排出抑制に努め、地球温暖化対策の推進を図るとともに、発電で得られた収益を市内の農業集落排水施設の維持管理費に充てます。	年間売電電力量 29万 kWh 年間売電収入 11 百万円 R6は機器の故障や冬季の水量が少なかったことにより発電量が減少し、農業集落排水施設の維持管理への充当額は3百万円（前年比4割）に留まった。	水道課

地域特性に合わせた再エネ導入可能性等の研究

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
13	グリーン専門人材の活用	グリーン専門人材を環境課に配置し、各課が所管する関連施策を主導的に推進する体制を構築することで、効率的・効果的に地域の脱炭素化を推進します。	民間企業からの非常勤派遣として専門的な知識・経験を有するグリーン専門人材を招へいし、国交付金獲得に向けた、官民の再エネ・省エネ等導入促進に関する検討を実施。 また、市の環境関連の計画等の策定や改定に向けた技術的助言、市内事業者からの相談等に専門的知見から支援を実施。	環境課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
14	専門事業者による脱炭素に向けた取組みへの伴走支援	市及び関係団体で構成する飛騨市脱炭素推進協議会に具体テーマごとに部会を設置し、専門的知識を有する業者の伴走支援体制を整えることで取組みの推進を図ります。	脱炭素推進協議会から派生する形で、省エネ・再エネ・EV化・木質バイオマスとJークレジット及び脱炭素化の5つのワーキンググループを開催し、全19回の開催の中で、今後取り組むべき具体のアクションを検討した。また、市内イベント（バラモリ、ミズベリング）において脱炭素ブースの出店を行い、親子連れへの脱炭素行動に関する周知や、環境教育の一環として、事業者、シニア、市職員向けに勉強会を開催した。	環境課

自立分散型エネルギーの確保

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
15	住宅用太陽光発電設備等の設置に対する支援	岐阜県と連携し個人住宅への自家消費型太陽光発電設備の設置に対し最大 350 千円、蓄電池の設置に係る費用に対し、最大 258 千円を補助します。	令和6年度 3件 1,023 千円の補助を実施。	環境課

1-3 温室効果ガスの吸収源対策をする

二酸化炭素の吸収源対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
16	民有林整備の推進	市内の民有林の森林整備に対する施業を支援し、木材生産活動が継続的に実施できる仕組みを整えることで、森林資源の活用推進と、山林の荒廃防止を図ります。	○民有林整備事業 森林の適正施業を目的に実施されている森林環境保全直接支援事業における森林所有者負担分を市が独自に補助することで、市内森林の適正管理による公益的機能の維持と林業の振興を図った（間伐：79.74ha、造林：2.61ha、作業路開設：406m、作業路補修：5,530m、広葉樹搬出：92.65 t）。 ○森林作業路機能強化支援事業 森林整備の基盤となる作業路の機能強化に必要な経費の一部を支援することで森林作業路の強靱化を図り、効率的かつ安定的な木材生産を推進した（宮川町大無雁地内：L＝3,500m）。	林業振興課

			○未整備森林整備事業 森林経営管理制度に基づく市町村森林経営管理事業により未整備森林の間伐を実施した（保育間伐：古川町畦畑地区 0.80ha、末真地区 1.77ha、河合町大谷地区 2.13ha）。	
17	CO2 排出の見える化による市内広葉樹の高付加価値化の推進	市内産広葉樹の原木及び製材品を生産するために排出した二酸化炭素の数値を見える化し、輸入原木・製材品と比較して飛騨市産の原木・製材品が、二酸化炭素排出抑制にどう貢献しているかを把握し、広葉樹の高付加価値化を推進します。	令和6年度に広葉樹及び針葉樹施業、仕分け、製材、乾燥に係る温室効果ガスの数値化に着手した。その結果、広葉樹施業においては、35.18kgCO ₂ /m ³ 、針葉樹施業においては、23.30kgCO ₂ /m ³ の数値化が完了。令和7年度において、数字の精査と継続して調査中である仕分け、製材、乾燥に係る数字を算出したうえで、製材品の温室効果ガスの排出量を数値化して、PRにつなげていく。	林業振興課
18	地域フォレスターの育成	森林の整備・保全の成長産業化に向けた取り組みを牽引する技術者（地域フォレスター）を育成し、市内の林政における専門的・技術的業務を担う人材の確保に繋がります。	飛騨市地域林政アドバイザーとともに市の林政に対する指導・助言やサポート業務に従事することによって、引き続き適正な技術者（地域フォレスター）の確保及び育成に努めた。	林業振興課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
19	広葉樹のまちづくりの推進	昨今の輸入材の高騰に加えて、持続可能な資源利用意識の高まりによる国産材回帰により、市内産広葉樹材の需要が増加傾向にあることから、域内関連事業者と連携し、確実な森林の更新をベースとした市内産広葉樹材の更なる活用推進を図ります。	○市産広葉樹を活用した家具等購入に対する支援 2件、1,691 千円の補助を実施。 ○FSC®認証材として、岩手県岩泉町、釜石市、宮城県登米市と認証材の市場や各地の状況について定期的に情報交換を実施。 ○東京都港区や神奈川県川崎市の木材活用のネットワークに加盟し、展示を行うなど市産広葉樹のPRを実施。 ○飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムを中心として、流通の円滑化に係る意見交換の実施。 ○広葉樹原木の仕分け流通量 612.887 m³ ○広葉樹生産のため、市有林の広葉樹試験伐採を実施。R6：広葉樹材流通量 260.272 m³ ○市産広葉樹材を活用し、アサガオの鉢キットを制作。市内小学校2校において森林教育授業とともに組立授業を実施。約70名の参加。 ○新たにふるさと納税返礼品に飛騨市産広葉樹を使用した家具製品の追加を実施した。	林業振興課

1-4 気候変動へ適応する

気候変動への適応に向けた取組の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
20	気候変動及び適応に関する情報の広報	気候変動への適応は、信頼のおける予測を基に個々の事業・業務への影響を想定することが第一歩であり、機会をとらえて気候変動の現状・予測、適応に関する情報を周知、啓発します。	地球温暖化に関して認識していただくため、各種イベントや勉強会等を開催し、自分事として捉えていただけるよう周知啓発を行った。 ・イベント出店（全2回） 6/16 バラモリ、7/28 ミズベリング ・講座等（全5回） 7/25 脱炭素経営セミナー、8/29 市職員向け講座、11/6 市民カレッジシニア学部（河合町）、1/10、16 区長会（古川、河合） ・広報ひだ7月号において、市の現状や脱炭素化の必要性を周知	環境課
21	公共土木施設等のインフラ強化	公共土木施設について、豪雨や地震等による災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止するため整備を行い、安心・安全なまちづくりを推進します。	古川町谷地内で急傾斜地崩壊対策工事を実施、古川町是重地内の大溝排水路を改修した。	建設課

基本目標２ 循環型社会を構築する

２－１ ３Ｒの取組を推進する

排出抑制に向けたライフスタイルの転換

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
22	リサイクルの見える化によるごみの分別・減量化の推進	ごみ分別の重要性などを伝える特集広報誌を作成するほか、サントリーと連携したペットボトルの水平リサイクルを展開します。	ビン・缶・家電小物類の３品目を掲載した「飛騨市資源ごみリサイクルガイド Vol.2」を作成し、全戸に配布。	環境課
23	市民向けリサイクル施設見学会の開催	ごみリサイクルの一連の流れを知っていただくため、市リサイクルセンターや民間施設（大垣市のガラスびんリサイクル工場、ガラスびん製造工場）を見学する市民研修会を年２回開催します。	11/8 民間リサイクル施設見学 23名参加 ① 丸硝(株)（ガラスびんリサイクル） ② 日本耐酸壘工業(株)（ガラスびん製造）	環境課
24	グリーンライフポイント交換による衣類リサイクルの推進	衣類定期回収におけるリサイクルポイントの交換対象品に飛騨信用組合が実施する「グリーンライフポイント（さるぼぼポイント）」を継続します。	令和５年度から引き続き衣類定期回収にて実施 利用件数：42件 （古川：30 神岡：10 河合：1 宮川：1）	環境課
25	ごみリサイクル基礎講座の実施	ごみリサイクルに関する基礎知識を理解していただくために、『ごみリサイクル基礎講座を実施します。受講された方には、ごみの減量化や３Ｒの推進にご協力いただきます。	2月に飛騨市クリーンセンターとリサイクルセンター施設見学の参加者（17名）へ講座を実施 3月に市役所西庁舎（55名）と神岡町公民館（14名）において、ごみリサイクル講座を実施	環境課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
26	飛騨市ごみゼロパートナー登録の推進	ごみ減量に取り組む事業者の申請により「飛騨市ごみゼロパートナー」として登録し、取り組み内容を各種媒体により周知して事業者を支援します。	市ホームページに掲載している、ごみゼロパートナー企業の内容を更新した。 令和6年度末で9社が登録	環境課

廃棄物の排出抑制・資源の循環的な利用に向けた体制作り等の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
27	民間リサイクル積替え保管施設の休日開所	神岡町東雲にある㈱神岡衛生社の民設民営リサイクル積替え保管施設「エコサポートかみおか」について、市の委託による毎月第1日曜日の休日開所を継続します。	毎月第1日曜日に開所 利用件数：72件 回収量：2,603kg	環境課
28	24時間資源回収ボックスの更新	資源回収を行うために設置している24時間資源回収ボックスについて、老朽化が著しい古川町若宮駐車場の回収ボックスを更新します。	古川町若宮駐車場の回収ボックスを古川町上気多（新駐車場内）に更新した	環境課
29	高齢者世帯への粗大ごみ等回収支援の拡充	70歳以上の高齢者のみ世帯における粗大ごみ等の戸別回収に係る費用の一部を助成します。（1,000円/回、世帯につき年1回まで）	利用件数：47件 （古川：2 神岡：45）	環境課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
30	衣類リサイクルの市内循環	飛騨市社会福祉協議会と連携し、回収した衣類を市内の介護施設で使用する清拭ウエスとして再利用します。	リユース広場での残余品（子ども服）を利用しウエスを作成 （配布先：飛騨寿楽園、たんぽぽ苑）	環境課
31	再生可能資源の回収支援	再生可能な資源の回収を行っている団体（PTA、子ども会等）に対し奨励金を交付します。	集団資源回収を実施した団体に奨励金を交付した （古川：29 神岡：9 河合：2 宮川：6）	環境課

事業活動における廃棄物の発生抑制・再使用の促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
32	適正処理の継続	事業活動に伴い発生する事業系一般廃棄物の抑制や資源化に取り組んでいただくよう啓発に努めます。	市内の事業所に対して、廃棄量を抑制する活動である、もぐもぐチャレンジの取り組みを紹介した	環境課

2-2 廃棄物を適正に処理する取組を推進する

環境負荷の少ない廃棄物処理の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
33	適正なごみ処理の実施	法令に基づき、適正なごみ処理を継続します。また、市外の処理委託先の現地確認を行い、委託先で適正なごみ処理が行われていることを現地確認します。	各施設の定期点検修繕を行い適正運転実施。 ・ごみ焼却施設（焼却処理）5,078t/年 ・リサイクル施設（資源化業者へ引渡し）1,010t/年（18品目） 焼却残渣処理や資源化の委託先における適正処理（資源化）状況を現地にて確認。	環境課

衛生施設から排出されるダイオキシン類等に係る環境基準値の遵守

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
34	衛生施設での環境基準を遵守したごみ処理の継続	市の一般廃棄物焼却施設から排出されるダイオキシン類等を測定、分析し排出基準の適合状況を確認します。	ごみ焼却施設（排ガス、焼却残渣） ＝全項目排出基準適合 最終処分場（放流水、地下水） ＝全項目排出基準適合	環境課
35	し尿処理施設等に係る排水基準を遵守した污水处理	市のし尿処理施設から排出される放流水等を測定、分析し排出基準の適合状況を確認します。	し尿処理施設（放流水） ＝全項目排出基準適合	環境課

廃棄物の不適正処理・不法投棄の防止

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
36	不法投棄撲滅キャンペーンの実施	不法投棄防止のための市内パトロールの実施に加えて、各種広報媒体を活用した啓発キャンペーンを行うことで、不法投棄の撲滅に繋がります。	各町内で4～10月にパトロールを実施。 不法投棄現場及び投棄物の写真を市ホームページに掲載し、投棄の抑止を図った。	環境課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
37	不適正処理対策の実施	廃棄物の野外焼却を監視し、野焼きについては生活環境への配慮啓発を行う野焼きパトロールを古川町、神岡町で実施します。	古川町、神岡町で5～11月にパトロールを実施。パトロール員が巡回し、野焼きを行っている方に対し、野外焼却禁止の注意喚起や、周囲への配慮について啓発活動を行った。	環境課

基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ

3-1 豊かな緑と水を保全活用する

豊かな自然の保全創出及び活用の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
38	天生県立自然公園におけるパトロール員の育成	後継者不足が課題である天生県立自然公園パトロール員について、歩道改修や電柵設置ボランティアや1日体験パトロールを通じて森を守り伝える後継者の育成を図ります。	後継者育成の一つとして、専門講師を招聘し遊歩道補修等に関連したワークショップ（座学/実技）を開催し、保全活動に協力してもらえる方の募集と既存パトロール員の技術習得・向上に取り組んだ。また、獣害防止電気柵ではボランティアによる協力を得て実施した。なお、森保全活動として1日体験パトロールを実施したことで、パトロール員2名を確保することができた。	河合振興事務所
39	池ヶ原湿原における獣害柵等の設置	令和4年度に実施した獣害調査の結果を基に、イノシシやシカの食害等防止のため、湿原を囲む林道沿い約1kmに電気柵を設置するとともに、罠による捕獲を行います。	湿原を囲む林道沿い約1kmに電気柵を設置。捕獲罠を設置し、ニホンジカ2頭、イノシシ1頭を捕獲した。	宮川振興事務所
40	市有林の活用推進	古川町信包地内にある市有林の森林散策道を整備する他、令和7年度以降の活用に向けた市民参加型の活用検討ワークショップを実施し、身近な森林フィールドへの活用に取り組みます。	古川町信包地内の市有林にて森林散策道の整備を実施。有識者による現地確認により、今後の森づくりの可能性の検討を実施した。令和7年度から朝霧の森と信包の市有林のそれぞれの良さを生かした活用に取り組む。	林業振興課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4 1	森スケによる自然環境保全活動の実施	森を助けるヒダスケ「森スケ」を活用し、市内3 湿原におけるヨシ刈りやオオバコ除去、登山道の整備など、ボランティアによる自然環境の保全活動を行います。	7 つのプログラムを実施し市内外から計 165 名が参加。保全に携わる人手不足を補った他、地域の自然について学ぶ機会や関係者同士の交流の機会を提供した。	まちづくり観光課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4 2	天生県立自然公園の保全整備・パトロールの実施	自然公園内の遊歩道、木道の改修、湿原内の貴重な植物を獣害から守る電気柵の設置（撤去）作業、体調不良者やケガをされた方がいないか公園内パトロール巡回業務を実施します。	自然公園内の傷んだ遊歩道、木道の改修、倒木処理をはじめ、湿原内のアブラガヤ等の刈取作業や貴重な植物を獣害から守る電気柵の設置（撤去）作業を実施し、自然環境の保全に努めた。あわせて公園内のパトロール巡回業務を行い、体調不良者やケガをされた方がいないか巡視による安全管理を行った。	河合振興事務所

健全な水循環の確保

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4 3	河川清掃活動による海洋プラスチックごみ対策の推進	岐阜県清流の国ぎふ海洋ごみ対策地域計画の重点モデル区域に設定された宮川町打保～小豆沢地内でボランティア河川清掃活動を実施します。	6/16 宮川町桑野地内の宮川河川敷で清掃活動を実施（ボランティア 55 名参加）。実施においては、「ヒダスケ」と連携し、参加者募集を行った。 また、吉城高校や宮川下流漁業協同組合、高山市役所などを通じてチラシを配布し、上流の方や地域外の釣り客などに海洋プラスチックごみ問題に関心を持ってもらえるように周知広報を行った。	環境課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
44	森林が生み出す地下水涵養性の評価	森林が生み出す豊富な水資源である地下水保有量や涵養性の分析調査をすることで、水循環を見える化し、適正な水資源利用につなげます。	古川町中心に地下水涵養性評価のため、河川から地域への流入量及び流出量、地下水の水位の調査を実施した。地下水保有量及び涵養性の評価を見える化するための基礎データの収集を行い、今後の活用につなげる。	林業振興課

希少な動植物と生物多様性の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
45	特定外来生物の防除	県立自然公園周辺地域を重点地域とし、従来の生態系に大きな影響を与えるとして環境省に指定された特定外来生物(植物)を委託により防除(採取)するとともに、ボランティアによる防除活動を支援します。	天生県立自然公園及び奥飛騨数河流葉県立自然公園の周辺に絞った防除作業を、シルバー人材センターへの委託により実施。令和6年度のボランティア防除作業には2団体から協力をいただいた。	環境課

3-2 自然と人が共生する

農地・森林の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
46	農地のほ場拡大整備	少人数の農業者での営農の持続化を図るため、県営土地改良事業を活用して農地のほ場拡大整備を行います。(玄の子地区：5期補完工事・換地手続、杉崎地区：1期第1号・2号工事、袈裟丸地区：事業計画策定・換地調整)	玄の子地区は令和6年度中に保管工事が完了し、換地手続きに入っている。杉崎地区は予定通り1期第1号が完了し、引き続き2号工事を行う。袈裟丸地区に関しては、事業計画の策定に着手し、土地改良後の担い手農業者の営農計画など、より具体的な計画策定を行う。	農業振興課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
47	各種交付金を活用した農地の保全整備等	多面的機能支払（農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援）、及び中山間地域等直接支払（農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取決め（協定）にしたがった農業生産活動等に係る支援）を継続し、地域の自主的な活動により農地の保全に努めます。	多面的機能支払事業は 23 の集落組織、中山間地域直接支払事業は 35 の集落組織により、地域の自主的な活動を行い、農地の保全に努めた。	農業振興課
48	新規就農者の確保、支援	飛騨地域トマト研修所において 2 名の研修を実施するとともに、研修生受け入れに係る指導者の施設導入への支援を創設し、研修生受け入れ体制の充実を図ります。また農業体験希望者への体験の場の提供や、新たにパート人材の登録やアルバイト募集アプリ等の活用を検討します。	・飛騨地域トマト研修所の指導者を対象に、研修生受け入れにあたって、補助率 4/10、上限 1,000 千円で研修体制を強化するための支援制度を創設し、トラクター購入を補助（1 件） ・就農体感ツアー4 回開催（参加者 4 名） ・パート募集等を掲載したアグリタイムズ 3 回発行（新聞折り込み、回覧、HP） ・アルバイト募集アプリの認定農業者向け説明会開催（1 回）	農業振興課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
49	耕作放棄地の利活用に向けた検討と実証	畦畑地区で国の集落支援員制度を活用したノブドウ・メナモミ栽培などの実証を継続するとともに、黒内地区で国の交付金を活用した放牧などの粗放的管理の実証を行います。	耕作放棄地の新たな活用に向けた実証として、黒内地区で家畜（牛・ヤギ）による試験放牧の他、地元企業と連携し、醸造用ブドウの栽培地整備を行った。	農業振興課、畜産振興課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
50	土地利用型農業の持続化に向けた検討	農地の保全にも大きく関係する水稻・大豆・そばなどの土地利用型農業の持続化に向けた検討会議を開催し将来のあり方を農業者と検討するとともに、水稻生産の根幹となる育苗農家への支援の創設や作業受託支援金の拡充を図ります。	水稻・大豆・そばなどを生産する土地利用型農業者と検討会を開催、持続化に向けた取組について議論を交わした。今後、直播による田植えの実証実験を行うほか、地域の農業者や農業団体のネットワークの構築による新たな農業組織の在り方を引き続き検討していく。	農業振興課
51	生活環境保全のための森林整備の促進	令和5年度に策定した「飛騨市林縁部の整備に関するガイドライン」を基に市民の住みやすい生活環境を整えるため、集落に近い林縁部の森林整備に対し、支援を行います。	飛騨市林縁部の整備に関するガイドラインに基づき、人家に近く暮らしと密接に結びついている里山について、集落が主体となった公益的機能の維持・向上を目的とした整備への補助を行った（危険木処理：古川町末真地内0.24ha、古川町寺地区0.25ha、神岡町石神地内0.69ha、伐倒木除去：古川町袈裟丸区0.29ha）。	林業振興課
52	クマ出没対策の強化	クマを誘引するおそれのある果樹等を伐採する費用への支援を時限措置として拡充するとともに、猟友会に対しドラム缶わなの支給等を行い、クマ捕獲体制の強化を図ります。	・放任果樹等伐採事業補助金 申請数 10件 補助額 1,588千円 ・クマ捕獲用ドラム缶わなの購入 購入数 10基 (古川2基、河合2基、宮川2基、神岡4基)	林業振興課
53	鳥獣被害防止柵の補修等に対する支援	集落等で整備した恒久柵を補修・修繕する場合に必要な費用の1/2(上限50万円)を支援することで、恒久柵の維持管理に係る負担軽減を図ります。	・鳥獣被害防止施設更新事業補助金 申請件数0件	林業振興課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
54	有害鳥獣捕獲に対する支援	狩猟資材等の価格高騰への支援として捕獲頭数に応じて交付する鳥獣被害防止捕獲報償金を増額するとともに、安心して捕獲活動ができるよう総合補償保険に加入します。	- 捕獲報償金額の増額（括弧内は令和5年度） 大型獣类等 30,000円（20,000円） その他獣類 3,000円（1,000円） 鳥類 1,000円（500円） - 賠償責任保険への加入 適用範囲 有害鳥獣捕獲活動中の事故等 保険金額 最大1億円	林業振興課

基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る

4-1 快適な生活環境をつくる

風土との調和に配慮した景観づくり

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
55	瀬戸川・まつり広場エリアにおける夜間景観の改善	令和5年度に実施した市民参加によるワークショップの結果を受け、瀬戸川（一部）・まつり広場の夜間景観、照明を改善するための基本設計を行います。	市民参加の照明実験ワークショップを開催し、その意見を反映した瀬戸川・まつり広場の夜間景観基本計画・基本設計を策定した。	まちづくり観光課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
56	神岡町市街地における照明実験ワークショップの開催	神岡町市街地（神岡城、藤波八丁等）において、市民参加による照明実験ワークショップ「照明探偵団」を開催し、夜間景観について意見交換を行います。	照明実験ワークショップ「照明探偵団 in 神岡」を開催し、世界的な照明デザイナーによる都市照明の基本講座を受けた後、実際に神岡町市街地で理想的な照明を考える照明実験を行い、市民の夜間景観への意識高揚を図った。	まちづくり観光課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
57	飛騨古川・町並み景観研究会の開催	町並み景観の保全活動に関する市民勉強会を開催するほか、新潟大学の協力のもと、市民を交えた町並み景観保全の取組みを行います。	町並み景観セミナーや地元小学生の町並み景観学習、新潟大学・大阪大学・立命館大学と合同の町並み調査研究を実施。地元中学生による未来に残したい町並みのガイド事業を実施し、市民の町並み景観への意識高揚を図った。	まちづくり観光課
58	街並み景観に調和した建築行為に対し助成	景観形成地区における景観整備支援として、街並み景観に調和した建築行為に対し助成を行います。	令和6年度4件 1,268千円の補助を実施	建築住宅課

空き家対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
59	空き家の流動化促進	空き家を改修し賃貸物件として活用するために行う工事費の 1/2 以内（上限 250 万円）を支援し、市内の空き家を解消するとともに賃貸物件不足の解消を図ります。	R6 年度空き家賃貸住宅改修補助金の実績は、6 件（13,333 千円）。住むとこネット登録空き家物件のうち R6 年度は賃貸 10 件、売買 30 件が成約（平成 27 年度からの成約数累計 294 件）	ふるさと応援課
60	空き家の自発的な除却の推進	利活用の見込みがない空家について、早期の解消を図るとともに所有者等の自発的な除却を推進するため、支援策として空家除却補助金を交付します。	令和 6 年度 22 件 18,778 千円の補助を実施	建築住宅課

環境美化活動の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
61	花いっぱい運動	地域の花壇等に花を植え地域の景観美化を行う花いっぱい運動について、地域の自治会、団体、事業者等から実施者を募り市が一括して花苗を購入し配布します。（実施者に応じ、市が費用の一部又は全部を支援。）	6 月 春植え用花苗（セル苗）配布 102 団体 10 月 チューリップ球根配布 44 団体	環境課
62	地域の清掃活動の実施	自治会等が地域清掃活動を実施し（ごみゼロの日推進運動）、集められたたごみの収集運搬または処理を市が支援します。	5 月 26 日に開催し、古川町は 30 地区（全 44 地区中）が参加。神岡町は各町内または団体にて事前に回収し、収集業者にて当日飛騨市リサイクルセンターまで搬入。 （回収量）古川町：814kg 神岡町：1,696kg	環境課

4-2 安心・安全な生活環境を保全する

大気・水・土壌の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
63	河川水質検査を実施	市内の河川21地点において水質検査を実施（年1回）します。	11月に市内の河川21地点において水質検査を実施し、良好な数値を確認した。	環境課

騒音・振動・悪臭の防止

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
64	自動車騒音の測定・分析	市内の主要幹線道路の自動車騒音を測定し、道路沿線の住居の自動車騒音の環境基準への適合状況を推計します。	12月に主要幹線道路沿い地域の自動車騒音測定を実施した。 対象線路：一般国道41号（測地地点：古川町末真、神岡町寺林、神岡町茂住） いずれも、昼間夜間とも環境基準に適合	環境課
65	住居地域での騒音の測定	住居地域での騒音の発生状況について、騒音の測定を行います。	11月に環境基準の達成状況を把握するために、生活環境における騒音の定点観測を行った。 実施地区：神岡町の3ヶ所（江馬公民館、釜崎公民館、船津座） 全て環境基準以下であることを確認	環境課

生活排水対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
66	下水道施設の統合に向けた検討	人口減少など現状をふまえ、効率的で健全な経営を目指すため、三ヶ区地区及び袈裟丸地区を公共下水道事業（古川処理区）へ統合するための検討を行います。	施設統合に向け国に対し事業計画変更を申請し、事業認可が得られた。R7より管路整備に向け実施設計に着手する。	水道課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
67	下水道整備の推進（神岡船津処理区）	公共用水域の環境保全のため、未供用となっている神岡町梨ヶ根地区の下水道整備を行います。	未整備地区として残っていた神岡町梨ヶ根地区が完了し、集合処理区域の全面供用を開始した。	水道課
68	合併処理浄化槽設置に対する支援	生活排水による水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、下水道処理区域外で対象となる合併処理浄化槽設置に対し補助金の交付を行います。	対象家庭へ周知したものの、申し込みは無かった。今後も粘り強く周知活動を行っていく。	水道課

基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む

5-1 主体的に環境保全活動に取り組む

世代・分野を超えた環境教育の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
69	(再掲) リサイクルの見える化によるごみの分別・減量化の推進	ごみ分別の重要性などを伝える特集広報誌を作成するほか、サントリーと連携したペットボトルの水平リサイクルを展開します。また、市民向けの施設見学会として、市営施設と大垣市のビンリサイクル施設を実施します。	ビン・缶・家電小物類の3品目を掲載した「飛騨市資源ごみリサイクルガイド Vol.2」を作成し、全戸に配布。 施設見学 11/8 民間リサイクル施設見学 23名参加 ① 丸硝(株) (ガラスびんリサイクル) ② 日本耐酸壘工業(株) (ガラスびん製造)	環境課
70	(再掲) 家庭でできるゼロカーボンアクション講座の開催	昨年度に引き続き、広報ひだにゼロカーボンアクションを紹介するコラムを連載し、市民一人ひとりのライフスタイルの変容を促していきます。また、脱炭素推進協議会のワーキンググループにおいて新たな啓発事業を検討します。	毎月の広報ひだにおいて、ゼロカーボンに向けたアクション周知を行った。また、脱炭素推進協議会から派生した5つのワーキンググループを展開し、全19回の会議を開催。市内における「脱炭素」の認知・意識・行動促進が急務と位置付け、ガイドブックやポイント制度の構築を検討した。	環境課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
71	小学校での環境教育の実施	市内小学校4年生による、ごみ処理施設見学、下水処理施設見学を実施する等、小学校における環境教育を実施します。	・ごみ処理施設(飛騨市クリーンセンター、飛騨市リサイクルセンター)見学 6/25 古川小学校 児童数 72 名 6/28 古川西小学校 児童数 45 名 9/13 神岡小学校 児童数 41 名 10/25 山之村小中学校 児童数 10 名 ・古川浄化センター 6/4 古川西小 45 名 ・河合町角川農集 7/12 河合小 2 名	環境課・水道課
72	エコサポーターの養成	ごみリサイクル基礎講座や市有施設見学等を開催し、市民のごみ分別の意識向上を行います。また参加された方をエコサポーターに登録し、3Rに関連するイベントの協力や参加への声掛けを実施します。	市有施設見学や市外リサイクル施設見学ではエコサポーターに案内を送付。 ごみリサイクルの見える化冊子の作成では、エコサポーターと市有施設内を見学し、ごみ減量化の意見を聞いた。	環境課

ICT（情報通信技術）等の積極的な活用

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
73	ごみ出し支援アプリの利用拡大	ごみ収集日だけでなく、50音検索によるごみ分別帳や通知機能などの機能を有するごみ出し支援アプリ「さんあ〜る」について、イベント等による周知を行い利用者増加を図ります。	市民から問い合わせがある品目を分別帳に都度追加し利用しやすいように努めた。 ごみリサイクルの見える化冊子の巻末にアプリ内容を掲載、環境課による各種イベントでチラシを配布して利用者増加を行った。	環境課

5-2 環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する

環境関連産業の育成促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
74	(再掲) 市内における中小水力発電所等の整備促進	民間事業者による中小水力発電所等の整備を促進するとともに、市内で行われる水素などの次世代エネルギーの調査研究を後方支援します。	民間事業者等からの小水力発電に関する問い合わせに随時対応。また、グリーン専門人材を招聘し、マイクロ小水力発電等の検証を行った。	環境課

事業実施指標に関する実績報告

飛騨市第三次環境基本計画においては、計画の検証のために各基本目標に対する検証指標を設定しています。目標値に対する最新の実績について、以下により報告します。

事業実施指標

事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標1 地球温暖化対策を推進する	温室効果ガスの排出量 (単位：千 t-CO2)	令和4年度	183	令和12年度	139
	公共施設のLED照明化 (単位：%)	令和6年度	19	令和12年度	50
事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標2 循環型社会を構築する	ごみ総排出量 (単位：t)	令和5年度	6,501	令和12年度	6,000
	一人一日当たり生活系ごみ排出量 (単位：g)	令和5年度	652	令和12年度	669
	不適正処理・不法投棄認知数 (単位：件)	令和6年度	13	令和12年度	13
事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ	天生県立自然公園 入山者数 (単位：人)	令和6年度	4,818	令和12年度	7,000
	天生県立自然公園 パトロール員数 (単位：人)	令和6年度	15	令和12年度	16
	林業従事者数 (単位：人)	令和6年度	40	令和12年度	46
	効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用集積率 (単位：%)	令和6年度	42.0	令和12年度	50
	有害鳥獣捕獲数(イノシシ)(累計) (単位：頭)	令和6年度	1,207	令和12年度	1,760

事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る	水洗化率 (単位：%)	令和6年度	89.91	令和12年度	90.00
事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む	エコサポーター登録者数(累計) (単位：人)	令和6年度	230	令和12年度	500
	ごみ分別アプリ導入者数 (単位：人)	令和6年度	2,618	令和12年度	3,000